

	<h1>会 報</h1> <p>— 新潟県少年自然の家後援会 —</p>	<p>[第 25 号]</p> <p>平成26年 2月10日 事務局 新潟県胎内市乙字大日裏 新潟県少年自然の家の家内 〒959-2602 TEL0254(46)2224 FAX0254(46)3070</p>
---	--------------------------------------	--



自然体験活動と
 子どもたちの成長
 胎内市長 吉田 和夫

豊かな自然のなかで多様な自然体験プログラムを提供している「新潟県少年自然の家」も開所から40年を迎え、子どもたちを中心に多くの利用者がキャンプ、カヌー体験、創作活動といった様々な活動を満喫しています。

日頃より、利用する子どもたちが楽しく、安全に活動できるよう施設周辺の環境整備を行っていただいている後援会の皆様をはじめ、地域ボランティアの方々のご支援、ご協力に対し心より感謝申し上げます。

ある調査によりますと、自然体験活動をた

くさんした青少年は、①課題解決能力や豊かな人間性などの「生きる力」がある。②体力に自信がある。③地球温暖化やごみ問題などの環境問題に関心があるなどの調査結果が出ております。

これは自然体験活動が子どもたちの成長にとって心身ともに良い影響を与えているということであり、知識や感動も深く心に刻まれていきます。

「新潟県少年自然の家」は大自然の中で、学校や家庭では得難い体験活動や集団生活を通して、感動や他人への思いやり、命の大切さなどの心を育てる場と考えております。

引き続き子どもたちが心身を育む場として活動できますよう、後援会の皆様のご支援を賜りたくお願い申し上げます。

地域に愛され、地域を
 愛する施設でまた一步

新潟県少年自然の家
 所長 小田 智美



大自然に親しむ子どもたち

新潟県少年自然の家
 後援会会長
 乙区長 時田 ・ 司



自然の家は今年度40歳を迎えました。利用者からは「懐かしいなあ」「きれいですね」「変わってないですね」などの声が聞かれます。変わらずに迎えてくれる施設であり続けることは大変なことで、ここに後援会の力の大きさを感じます。本当にありがとうございます。

昭和61年に誕生した後援会。地元3地区全戸の皆様から支えていただいている自然の家は、全国的にもここ「新潟県少年自然の家」だけではないでしょうか。松葉かきに代表される後援会の活動は、どれも利用者の皆さんの笑顔や満足感につながっています。後援会の皆様の支えの下、きれいな環境、活動しやすい環境で利用者を迎えることができる私たちスタッフは幸せ者ですね。

「自然の家は地域の皆さんに愛されていますからね」とのうれしい一言をいただいたことがあります。もちろん、「私たち自然の家も地域を、そして地域の皆様を愛していますよ！」

これからも期待に応えられる自然の家であり続けたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

新潟県少年自然の家開所から40年の節目を迎え、施設も老朽化してきていますが、今まで長年利用されてきた多くの子どもたち一人一人の思い出が沢山詰まられた施設だと思えます。車を降りるとすぐに豊かな大自然「よしこれから精一杯自然を楽しむぞーヤッホー！」と子どもたちの声が聞こえてきそうです。その自然環境の中でウォークラリー、夜にはキャンプファイアー、そして、野外での炊事。ワクワクするようなことが次々と体験できて喜ぶ顔が思い浮かびます。

子どもたちが一生涯忘れることのできない思い出を残し、友達との絆を更に深め、よりよい人間関係づくりができる場と思えます。

自分たちが大人になったとき、楽しい思い出を作った自然の家を思い出していただきたい。

これからも自然の家後援会では環境整備の援助活動を行い、きれいな松林で子どもたちが元気で自由にのびのびと遊んでもらえる環境づくりを進めていき、子どもたちの健全育成に微力ではありますがお手伝いを続けていきますので、県内外からの誘致を願い、更なる発展をご期待申し上げます。

今年度も多くの方々からご奉仕いただきました

松葉かき



- 平成25年4月9日 松葉等集積作業・・・胎内GGR
- 平成25年4月11日 松葉等集積作業・・・乙中学校1・2年生
- 平成25年4月13日 松葉等運搬処理作業
3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (15名)

時田 司	諸本敏喜代	○南波 快和
○南波 幸男	○南波 英雄	久世 洋
大瀬 正明	室本 恵一	○川崎 吉郎
川崎 幸治	◇天木 義人	遠山 裕一
○南波 精咲	○斎藤 広司	時田 カネ



・桃崎浜地区 (15名)

伊藤 貞夫	○本田 勝夫	小林 鋼一
藤木 繁一	藤木 康市	藤木 恒夫
藤木 勝男	本間 秀	三浦みち子
佐藤 秀隆	上野 堯	藤木 宣隆
三浦由紀子	本間砂恵子	宮川 孝



・荒井浜地区 (12名)

長野 彰夫	八幡 弘	阿部 吉一
佐々木 徹	長野 正夫	佐藤 実
阿部 正生	山田 進	野澤 修
野沢 源治	長野 互	金子祥次郎

・その他協力者 (3名)

阿部 里枝	糸魚川ツヨ	高橋由紀恵
-------	-------	-------

※ ○軽トラック提供者、◇小型ショベル提供者

テント設置



- 平成25年4月24日
3地区から、以下のとおり参加をいただきました。
ありがとうございました。

(敬称略・順不同)

・乙地区 (2名)

南波 英雄	田村 幸榮
-------	-------

・桃崎浜地区 (2名)

本田 勝夫	菅 定雄
-------	------

・荒井浜地区 (2名)

長野 正夫	佐藤 実
-------	------



平成25年度

後援会活動事業報告

平成25年

4月1日

後援会発足

会長 時田 貞夫
 副会長 伊藤 彰夫
 副会長 長野 彰夫

4月13日 (松葉かき・計53名)

乙地区 15名
 桃崎浜地区 15名
 荒井浜地区 12名
 その他協力者 3名
 当所職員 8名

4月24日 (テント設置・計14名)

乙地区 2名
 桃崎浜地区 2名
 荒井浜地区 2名
 当所職員 8名

5月下旬から9月上旬

当所職員で随時草刈り

平成26年

2月7日 (後援会会計監査)

2月10日 (後援会総会・会報25号発行)

地元の方から大人の体験教室に参加いただきました



【そば打ち教室】

大人の体験教室として「そば打ち教室」・「苔玉づくり教室」・「陶芸教室」を開催しました。初めての方も経験のある方も、おいしい蕎麦を目指して熱心に一連の工程を体験しました。教室での経験を基に、地域活動としても広がっています。



【苔玉づくり教室】

苔玉づくり教室では、迎える新年がより良い年になるように念じながら、縁起物のからたちばなを使って苔玉を作りました。お正月のよい飾り物ができたと大好評でした。

(4)



【陶芸教室】

陶芸教室では、陶芸家を講師に迎え丁寧な指導の下、各自できあがりイメージしながら制作に没頭しました。

窯出した作品は最高の出来映えであり、参加者は芸術家の気分を楽しみました。

新たに備品購入しました



【背負い式ブロワー】

少年自然の家の駐車場や進入路は広大であり、常に落ち松葉等が堆積し、降雨時は水溜まりが発生するなど清掃が間に合わない状態でした。

このような状態の解消や、進入路の安全確保を速やかに実施できるよう、後援会費より背負い式ブロワーを購入しました。

より良い利用環境の確保のために、大切に使用させていただきます。

平成26年度 後援会事業計画（案）

- 1 松林内の整備
 - 松葉の集積
 - 枯れ枝の搬出
 - 4月12日 奉仕作業「松葉かき」
- 2 遊歩道等の整備
 - 雑木伐採・草刈り
 - 遊歩道の補修
 - 6月・7月 奉仕作業「草刈り」
- 3 広報紙の発行
 - 後援会「会報」印刷・発行 全戸配付
- 4 その他（未定）